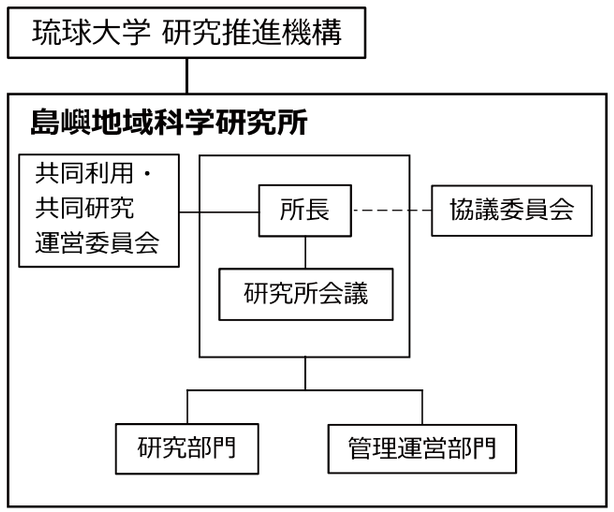
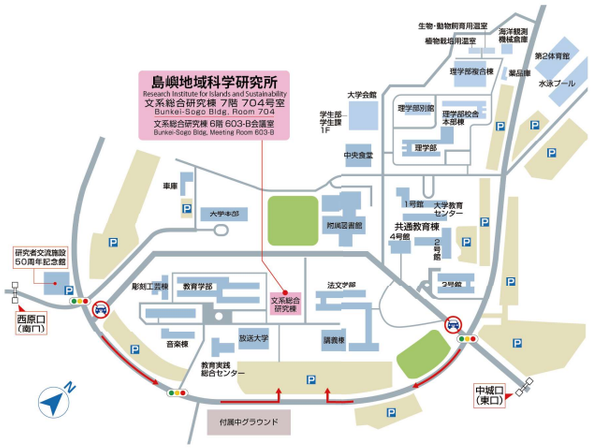
組織図





〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1
Phone: 098-895-8475
Fax: 098-895-8308
E-mail: riis@riis.skr.u-ryukyu.ac.jp
Website: http://riis.skr.u-ryukyu.ac.jp/

Facebook からも情報を発信しています

島嶼地域科学研究所
Research Institute for Islands and Sustainability

（2020. 3 作成）

国際連携

世界の研究者と共に
島嶼地域科学を推進します

学術ネットワーク

共同利用・共同研究を通して
学術連携を拡げます

規範科学
島嶼地域は
いかに「あるべき」か

島の当事者性に依拠する
島嶼地域科学

経験科学
島嶼地域は
いかに「ある」のか

実践科学
島嶼地域の課題を
いかに「解決する」のか

島の未来を担う人材と
若手研究者を育成します

次世代育成

島の自律的・持続的発展に
研究成果を役立てます

社会貢献

国立大学法人　琉球大学

島嶼地域科学研究所

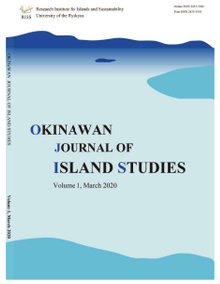
Research Institute for Islands and Sustainability
University of the Ryukyus

RIIS

定期刊行物

Okinawan Journal of Island Studies (OJIS)

国際学術査読誌 “*Okinawan Journal of Island Studies* (OJIS)” は、9 年間、国際沖縄研究所のシグニチャージャーナルとして沖縄研究の国際的展開に寄与した “*International Journal of Okinawan Studies*” の業績を引き継ぎ、島嶼や島嶼性に着目した多彩な研究成果を、沖縄から世界に向けて発信する新ジャーナルとして、2019 年度よりスタートしました。



人文・社会科学を中心とした、国内外の島嶼や島嶼性に着目した英語による学術論文と書評を募集します。専門分野ごとに国内外の査読者による厳密な査読の後、優れた論文を掲載することで、島嶼地域科学の国際的な寄与を目指します。特別セクションでは、インタビュー、研究ノート、詩や散文も掲載します。

http://riis.skr.u-ryukyu.ac.jp/publications/periodical-publications/ojis/

『島嶼地域科学』

本誌は島嶼地域に関する人文科学・社会科学分野の優れた研究成果を発信する和文学術誌です。成果発表の即時性と、掲載論文へのアクセス性の向上を重視し電子ジャーナルとして発行します。新雑誌の特徴は次の通りです。

1．島嶼地域に関する人文科学分野、社会科学分野の研究成果でしたら、研究者、院生・学生を問わず、どなたでも投稿が可能です。
2．原稿の種類は、研究論文、研究ノート、短報、資料、翻訳、書評と多種にわたり用意されています。
3．研究論文への掲載は、投稿分野の専門家による査読制度を導入しています。
4．J-STAGE で公開するため、掲載論文には DOI が付与されます。

http://riis.skr.u-ryukyu.ac.jp/publications/periodical-publications/jrsi/

2018 年度までの定期刊行物 “*International Journal of Okinawan Studies* (IJOS)” 及び『国際琉球沖縄論集』の全ての題目は RIIS のウェブサイトから確認できます。掲載論文は、琉球大学学術リポジトリで公開されています。

研究プロジェクト

【2019～2021年度】

島嶼地域科学の分野横断型研究展開による国際的共同研究拠点形成

先行事業である「自律型島嶼社会の創生に向けた＜島嶼地域科学＞の体系化」(2016 ～ 2018 年度)では、国内外の多様な研究者との共同利用・共同研究によって体系化された島嶼地域科学の体制を構築してきました。またその中で、琉球大学の強みである島嶼研究を主軸として、国際的に発展させる取組みを続けてきました。

これらの成果を基に、本事業では次の 2 点を目標としています。

①島嶼地域科学の国際的共同研究拠点としての基盤形成に向けて取り組むこと。
②島嶼地域との共有性が強く、かつ多分野共通の課題として抽出された「レジリエンス」と「バイタリティ」というキーワードに着目し、島嶼地域課題解決のための分野横断型研究を国際的に展開すること。

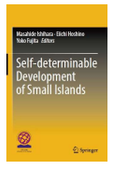
この 2 つの目標達成に向け、次の 5 つのユニットから構成される多分野融合型の調査・研究を進めています。

- **コミュニティー**：コミュニティーにおける記憶の継承の研究
- **防災**：「人・技術・自然」を効果的に活用する自然災害の防災・減災研究
- **軍事基地と環境**：グアムに焦点を当てた軍事基地による環境問題の研究
- **保健**：保険医療人材マネージメントにおける医療システム構築の研究
- **歴史清算**：東アジアにおける沖縄戦の再検証

RIIS ライブラリ

RIISでは、研究成果報告の一環として、様々な書籍の出版を行っています。

『島嶼地域科学という挑戦』(2019 年)
“Self-determinable Development of Small Islands” (2016 年)
『島嶼型ランドスケープ・デザイン―島の風景を考える』(2016 年)
『沖縄ジェンダー学 1 ～ 3』(2014 ～ 2016 年)
『島嶼地域の新たな展望 ―自然・文化・社会の融合体としての島々』(2014 年)
『人の移動と 21 世紀グローバル社会 I ～ X』(2010 ～ 2013 年)



共同利用・共同研究事業

島嶼地域の研究者とそのアイディアを広く募り、多角的・学際的な研究を展開するための共同利用・共同研究を推進しています。

この取り組みを通して島嶼地域研究者コミュニティの要望に応えるとともに、国内・海外の島嶼地域の自律的・持続的発展に資する学際的研究を推進します。

- **公募型共同研究・個人型共同利用（共同研究員）**
  国内・海外の島嶼地域を対象とした学際的研究を展開するため、多彩な研究課題を全国に向けて公募しています
- **課題設定型共同研究（共同研究員、協力研究員）**
  RIISが主体となり、島嶼地域に関する研究課題を設定し、国内外の研究者と共に共同研究を推進しています
- **客員型共同利用（客員研究員）**
  RIISを研究拠点とする島嶼地域科学研究者を国内外から広く受け入れ、共同利用による学術連携を拡充しています

研究資源データベース

島嶼地域科学の発展に資する学術情報を網羅的に把握し、データベース化・アーカイブ化して公開することにより、共同利用・共同研究のための研究資源を提供しています。

【沖縄関係外交史料館資料データベース】
このデータベースに収録した外務省作成の公文書は、外交史料館による一連の文書公開によって入手されたものです。これまで細切れに公開されてきた沖縄関連の外交記録を文書のつながりに沿って整理した点が特徴です。

http://riis.skr.u-ryukyu.ac.jp/resources/RC001_dadocs/

これまでの研究プロジェクト

【文部科学省特別経費事業】
自律型島嶼地域社会の創生に向けた「島嶼地域科学」の体系化：島嶼地域研究・教育の拠点形成 (2016～2018年度)

現代グローバル社会における自律的島嶼社会モデルの構築と実践：島嶼地域研究・教育の拠点形成 (2015年度)

沖縄におけるジェンダーの理論化と学術的実践：沖縄ジェンダー学の創出（2011～2015年度）

新しい島嶼学の創造：東アジア・オセアニア圏を結ぶ基点としての琉球弧人の移動と21世紀のグローバル社会（2008～2012年度）

【文化庁委託研究事業】
危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究（2013・2015年度）

【中期計画達成経費　戦略的研究経費プロジェクト】
グローバル社会における主体的島嶼社会創生をめざした総合的研究（2014・2015年度）

琉球・沖縄学における先端的研究領域の開拓：文理融合を目ざした実践的研究プロジェクト（2013年度）

人文・社会科学を主体とした先端的琉球・沖縄学の次世代研究者および地域リーダーの育成・研究推進プロジェクト（2011～2012年度）

研究者コミュニティへの貢献
- RETI 2017 in OKINAWA主催（2017年11月）
- 日本島嶼学会・宮古島大会主催（2019年10月）

2018年度に開催したシンポジウム等
- 島嶼地域科学研究所・研究資源データベースの構築に向けて（2019 年 2 月 1 日）
- 自律型島嶼社会の創生に向けた「島嶼地域科学」の体系化（2019 年 3 月 1 日）
- 島嶼地域研究への多様なアプローチ (2019 年 3 月 10 日)
- 島嶼地域における言語研究の可能性と課題 (2019 年 3 月 14 日)